

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2	選択
担当教員			
古川 直子			
1年次以上	全学部	週2時間	アクティブ・ラーニングあり
添付ファイル			
ps. pdf			

授業概要	<p>近年の平和学では、戦争や紛争などの直接的な暴力はもとより、飢餓、貧困、差別、抑圧などの不平等な社会的構造もまた平和を阻むものと考えます。この授業の前半部分では、このような構造的暴力の具体的局面を日本と世界の事例からとりあげ、広い意味での平和について考える視点を身につけてゆきます。戦後の平和学／平和運動の展開において、被爆地としてのヒロシマ・ナガサキはとりわけ重要な役割を果たしてきました。授業の後半部分では、長崎という地域に固有の体験から戦争と平和について考えてゆきます。</p> <p>学位授与の方針・教育過程編成実施の対応する教育目標【形1】【形2】【形3】【形4】【機1.4】【機JI.5】【医1】 系統図も参照すること。</p>
授業計画	<p>第1回 イントロダクション</p> <p>第2回 構造的暴力とは何か</p> <p>第3回 豊かさのなかの貧困</p> <p>第4回 子どもの貧困と女性の貧困</p> <p>第5回 若者の貧困と貧困の連鎖</p> <p>第6回 ワーキングプアと貧困</p> <p>第7回 排外主義とヘイトスピーチ</p> <p>第8回 日本における難民問題</p> <p>第9回 外国人技能実習制度の現状と課題</p> <p>第10回 紛争と戦時性暴力</p> <p>第11回 長崎における原爆の被害</p> <p>第12回 被爆体験と「二重の差別」</p> <p>第13回 「ノーモア ナガサキ」に向けて</p> <p>第14回 長崎における韓国・朝鮮人被爆者の体験</p> <p>第15回 「原爆神話」とナガサキ</p>
授業形態	<p>【講義形式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者は教科書の指定されたページ（あるいは配布資料）を精読し、授業に臨みます。 ・授業中にワークシート記入の時間を設けますので、受講者は予習内容をもとに設問に解答します。 ・講義はワークシートの設問に沿って、受講者との対話形式で進めます。 ・対話型の講義を進めやすくするため、座席指定制を採用する場合があります。
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・平和学の基本的な用語・考え方を身につけ、さらにそれを用いて身の回りの具体的事象を捉えられるようになる。 ・平和に関するテーマについての文章を読み、その内容を正しく把握するとともに自らの考えを論理的に述べられるようになる。 ・課題への取り組みをつうじて、主体的に学ぶ姿勢を身につける。
評価方法	<p>平常点（ワークシートの提出状況や内容、受講態度、教員からの問いかけに対する応答）60%、期末試験40%。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの提出状況・内容に応じて、加点・減点評価します。 ・ノートテイクや授業内での発言における積極的な姿勢を加点評価します。 ・欠席・遅刻は減点対象とし、授業放棄や授業を妨害する行為などについては大幅に減点します。